

平成 30 年度日本海ソデイカ(あかいか)漁況情報(中短期予報)

* 但馬地域の沿岸漁業にとって重要な対象種となっている「ソデイカ(あかいか)」について、現況と中短期的な漁況予報をお知らせします。操業の参考になれば幸いです。

現況と見通し(予報対象期間:平成 30 年 10~11 月)

【現況:9 月下旬まで】

- ・ 漁況指標値(香住支所の 1 日 1 隻あたり漁獲量)は、9 月上旬に 40kg、9 月中旬に 179kg、9 月下旬に 136kg と推移している。(参考値:10 月上旬(10/8 まで)に 220kg)
- ・ 漁獲物のサイズは、9 月下旬の時点で胴長 50cm 台~60cm 台前半(体重 7~10kg)と、小型サイズの胴長 20cm 台後半~30cm 台前半(体重 1kg 前後)が主体。

【今後の漁況予報】

- ・ 先に加した群が成長した胴長 60cm 台前半~70 台前半のもの、小型サイズの群が成長した胴長 40cm 台~50cm 台のものが主体となり、今後も幅広いサイズの漁獲が見込まれる。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しの規模は「かなり大きく」、接岸距離は「やや接岸」で経過する見込み。
- ・ 好漁場の指標となる水深 100m における水温 15℃の等温線の配置は、今後も北緯 36° 付近にあり、漁場は沖へは広がらず北緯 36° 以南に形成される見込み。

*日本海西部海域の海況予測には、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産総合研究センター日本海区水産研究所の拡張版日本海海況予測システム(JADE2)を利用しました。
 (http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/)

1. 漁況の推移 (図1)

漁況の指標としている JF 但馬香住本所の 1 日 1 隻あたりの漁獲量(旬別平均値)は、8 月上旬~9 月上旬は 30~40kg で、9 月中旬は 179kg、9 月下旬は 136kg で推移しています。※図 1 の 10 月上旬は 10/8 までの速報値(220kg)。

漁期のはじめは低調でしたが、**9 月中旬以降は概ね平年と同等以上の漁模様**となっています。

2. 漁獲物組成の推移 (図2)

JF 但馬香住支所での市場調査の結果、9 月上旬の漁獲物のサイズは胴長 30cm 台~50cm 台(体重約 1~6kg)とばらつきがありました。それが成長に伴い、9 月中旬には 50cm 中盤(6~7kg)、9 月下旬には 50cm 台後半~60cm 前半(5~8kg)となっています。

現在は、**胴長 60cm 台と胴長 30cm 台のものが漁獲の主体**であり、**今後しばらくは、この 2 つの群が成長しながら漁獲の中心となるもの**と考えられます。

例年、10 月頃に別の小型サイズの群が加入してきますが、**今漁期は 9 月中旬頃から小型サイズの群の加入が多く、引き続き幅広いサイズの漁獲が見込まれます**。

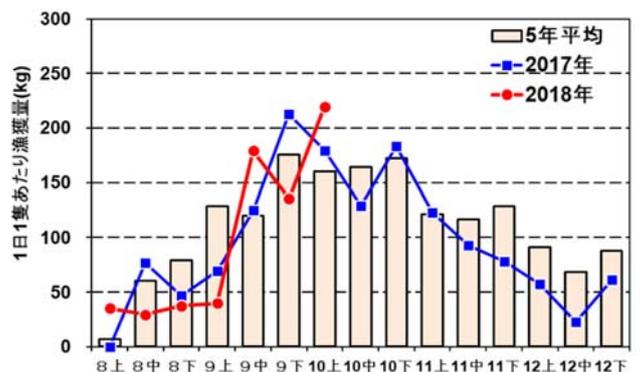


図1 旬別1日1隻あたり漁獲量の推移(JF 但馬香住支所)

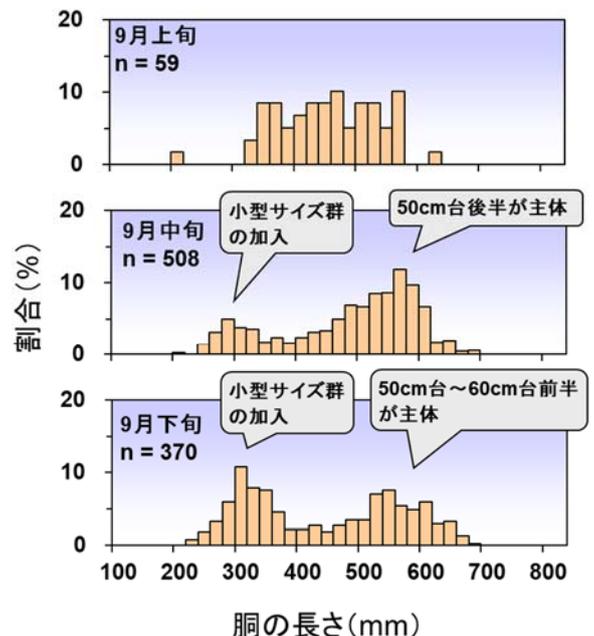


図2 漁獲物の体長組成

3. 漁場環境の推移 (図3)

これまでの調査により、好漁場は水深 50m の水温が 19℃以上、水深 100m の水温が 14~15℃以上の海域に形成されることが分かっています。また、この時期の山陰沖漁場の水温は、季節的な変動よりも沖合部に出現する冷水域の動きに大きく影響されます。

今漁期の 50m 深、100m 深の水温の変化を「拡張版日本海海況予測システム(JADE2)」により予測しました(図3)。

・太い赤線(50m 深の 19℃、100m 深の水温 15℃) 示した等温線よりも水温の高い海域が「好漁場」となる可能性のある海域です。

・但馬沖にはかなり規模の大きな冷水域が漁期を通して存在し、これが今漁期の漁場形成に影響を及ぼすことが考えられます。

【9 月下旬】(図3上段)

- ・但馬沖では 100m 深において水温 15℃の等温線が北緯 36° 以北にありました。
- ・その沖合の北緯 37° 40 付近を中心にかなり大きな規模の冷水域が存在していました。

【10 月中旬】(図3中段)

- ・以前として北緯 37° 50 付近を中心に冷水域があると予測されます。
- ・但馬沖では 50m 深における水温 19℃の等温線の南端は北緯 36° 以北に、100m 深における水温 15℃の等温線の南端は北緯 36° 付近にあり、南縁の東西の幅はどちらの等温線もやや狭まると予測されます。

【11 月上旬】(図3下段)

- ・但馬沖の冷水域の中心は北緯 38° 付近に北上し、規模はやや縮小すると予測されます。
- ・但馬沖では 50m 深における水温 19℃の等温線の南端は北緯 36° 以南に南下し、100m 深における水温 15℃の等温線の南端は北緯 36° 付近にあると予測されます。

冷水域や暖水域の影響により、海域によっては海流の向きに大きな変化(速い逆潮等)が生じる場合がありますので、作業時にはご注意ください。海流の予報については、当センター発表の「海の天気図」(図4)や「センターだより(海況情報)」もご参照下さい。

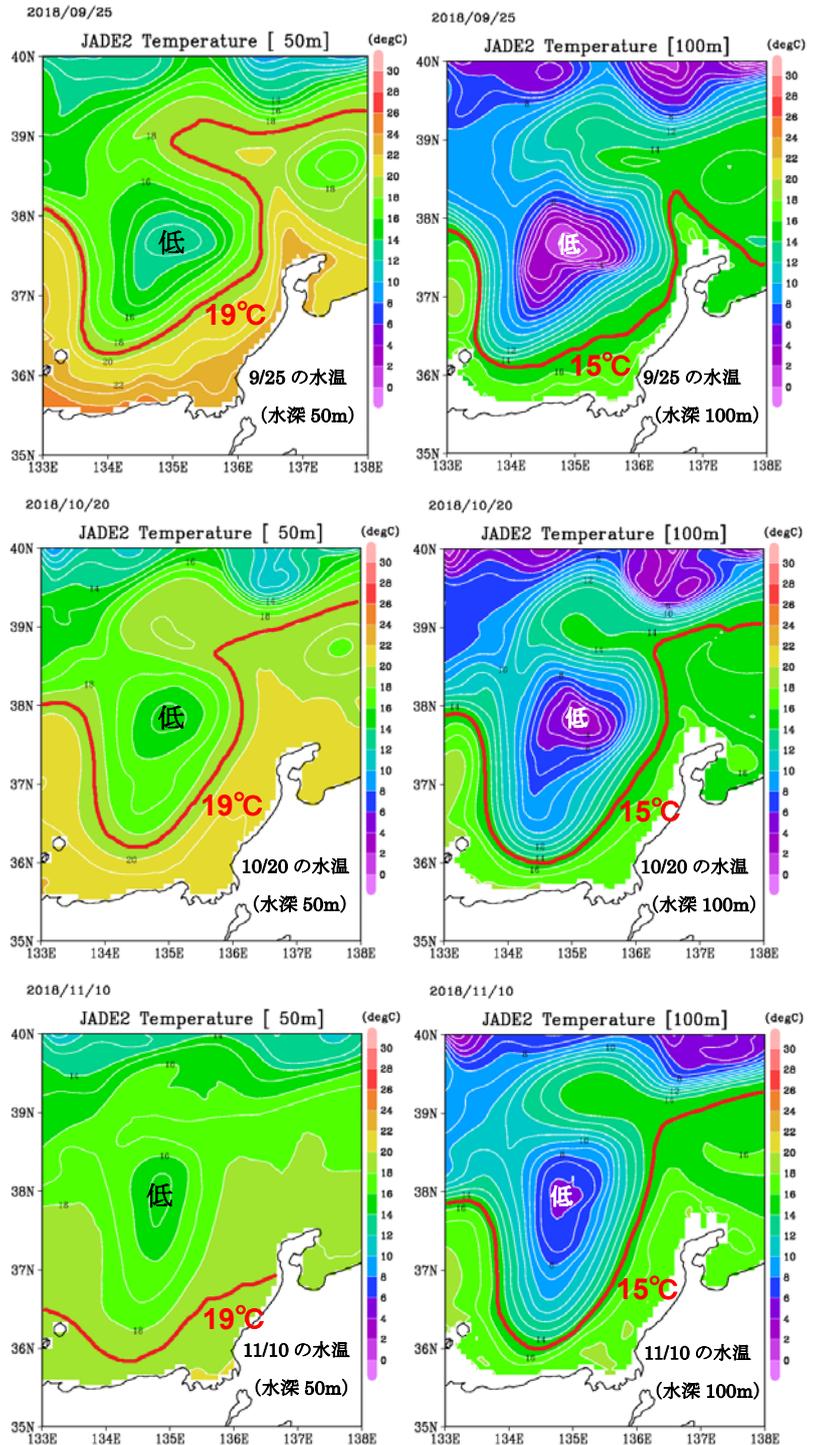


図3 水深 50m(左)、水深 100m(右)の水温分布予測
(太線:50m 深における 19℃の等温線または 100m 深における 15℃の等温線)

4. その他

最新の日本海沿岸の海況予報

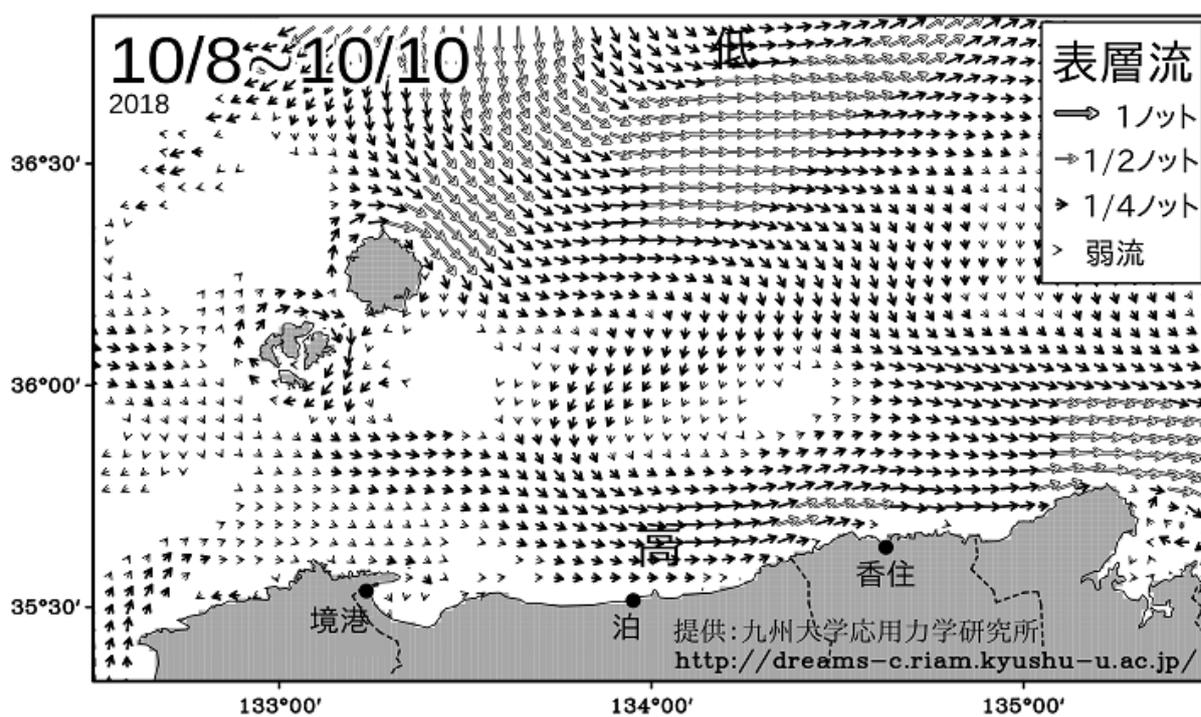


図4 「海の天気図」の一例*

*10月5日に発表した10月8~10日の予測
(次回、10月15~17日の予測は10月12日発表予定)